

目次

はじめに	1
目次・凡例	2
口絵	3
たきびの詩人の生涯	
① 生い立ち	9
② 童謡詩人としての旅立ち	12
③ 北原白秋との出会いと再度の上京	15
④ 新美南吉との出会い	19
⑤ 児童文学者としての自立	22
⑥ 戦前の児童文学界での活躍	25
⑦ 童謡「たきび」の誕生	28
⑧ 新美南吉との別れ	32
⑨ 日野への転居と戦後の活動	35
⑩ 異聖歌の奔走 — 花咲ける日の南吉へ —	41
⑪ 伊藤整と田中冬二 — 文学仲間との交流 —	45
⑫ 異聖歌の妻野村千春	48
異聖歌没後の顕彰活動	
① 『異聖歌作品集』の刊行	51
② ふるさと紫波町における顕彰活動	52
③ 日野市における顕彰活動	53
付編	
年譜	57
異聖歌の主な著作・主な参考文献・資料	62
あとがき	63

コラム

『赤い鳥』について	11
安倍季雄と異聖歌	13
北原白秋と異聖歌	16
異聖歌に出会うまでの新美南吉	20
異聖歌と短歌	23
『内原詩集 日輪兵舎の朝』について	26
童謡「たきび」をめぐるエピソード	30
南吉の教え子 大村ひろ子さんの話	34
大仏次郎との交流	38
宮沢賢治と藤原嘉藤治 — 聖歌に与えた影響 —	43
南吉の見た野村千春 (『新美南吉日記』昭和八年から)	49

(凡例)

一、本書は、日野市で後半生を過した詩人・児童文学者異聖歌(本名野村七蔵)の生涯と業績、地元での顕彰活動等を、入門書として解説したものである。

二、原稿執筆・編集は、『異聖歌作品集』その他の関係書籍、雑誌追悼特集、関係者の聞き書きなどをもとに、日野市郷土資料館北村澄江が行なった。

三、本文中、特に注記のない資料は、日野市郷土資料館が保管する異聖歌関係資料中のものである。

四、文中の敬称は略した。また、()内は編者の注記である。

*表紙色紙は異聖歌自筆。裏表紙挿絵は野村千春『新樹』、見返しは深沢紅子『ムラニハムラニ』より。